

# 沖縄復帰50年を振り返る

# 沖縄あんやたん かんやたん

## 総集編

2022年5月15日、沖縄が本土復帰して50年が経ちました。これまでこの連載では、復帰からの50年を5年毎に振り返り、主なニュースや出来事を紹介してきました。最終回の今号では、復帰後のニュースとして印象に残る出来事をピックアップしました。

協力：沖縄県立芸術大学芸術文化研究所 共同研究員 仲村 顕

## 1972年の 本土復帰からの出来事を知ること、今を知る

本誌ではこれまで10回に渡り、沖縄県の本土復帰50年を振り返ってきました。

1972年の沖縄返還協定の発効により本土復帰した沖縄は、1978年には交通方法も本土と同じく「人は右、車は左」へと変更されました。1980年代に入ると、陶芸家の金城次郎氏が県内初の人間国宝に認定され、沖縄の伝統工芸の認知度が全国で高まりました。さらに1990年代には首里城が47年ぶりに復元されたことで、観光業が躍進し、沖縄にさらなる注目が集まりました。

2000年代は首里城などの世界遺産登録や美ら海水族館の開館、興南高校の春夏甲子園連覇などにより国内外で沖縄の存在感が一気に増しました。近年では首里城の火災や新型コロナウイルスの困難にも見舞われましたが、観光業を中心に沖縄経済は回復の兆しを見せています。



提供：那覇市歴史博物館

**沖縄県返還協定発効、沖縄県発足**  
1972年5月15日に27年ぶりに施政権がアメリカから日本に返還され、本土復帰し、「沖縄県」が復活しました。復帰の「新沖縄県発足式典」は東京と沖縄の両会場で同時に行われました。

【1983～1992年】  
復帰時と比較すると、外国人観光客数は10倍近くに増えました。



沖縄県公文書館所蔵

**金城次郎氏が県内で初めての人間国宝認定**  
陶芸家（壺屋焼）の金城次郎氏が、沖縄で初めてとなる国の重要無形文化財（人間国宝）として認定されました。金城氏の作品は魚紋や海老紋など伝統的な紋様が印象的です。



提供：那覇市歴史博物館

**730（ナナサンマル）交通方法の変更**  
31年間続いた沖縄の交通方法「人は左、車は右」から「人は右、車は左」へ変わり、7月30日午前6時を期して県下一斉に実施。初日は各地で交通事故や渋滞が相次ぎました。



提供：時事通信社

**47年ぶりに蘇った首里城**  
沖縄の本土復帰20年の記念事業として1984年から整備構想が始まり、1992年に首里城公園の一部が完成。正殿や北殿、南殿、番所などの主要な施設が復元され、47年ぶりに壮麗な姿が蘇りました。



1996年



提供：沖縄タイムス社

## 基地問題で 全国初の県民投票

1995年に起きた沖縄米兵少女暴行事件を機に米軍基地の整理や縮小について賛否が問われ、全国初の県民投票が実施。賛成票が過半数を超えました。

2000年



提供：OCVB

## 県内で初の 世界遺産が誕生

沖縄を代表する9つの遺跡・名勝が「琉球王国のグスク及び関連遺産群」として県内初、国内では11件目となる世界遺産に登録されました。

2002年



提供：ばんない堂

## 沖縄美ら海水族館 オープン

国営沖縄記念公園内に沖縄美ら海水族館がオープン。当時世界最大級的水槽にジンベエザメやマンタの複数飼育など、話題を集め多くの来館者で賑わいました。

2010年



提供：沖縄タイムス社

## 興南高校春夏連覇

興南高校が、1998年の横浜高校以来、史上6校目となる甲子園での春夏連覇の快挙を達成。我喜屋優監督の「逆境を友達に」という指導論も注目を集めました。

2018年



提供：沖縄タイムス社

## 安室奈美恵氏引退

県出身の歌手で県民栄誉賞の受賞歴もある安室奈美恵氏が9月16日に引退。前日に行われたライブには全国から数万人のファンが駆けつけました。

2019年



提供：沖縄タイムス社

## 首里城が火災により焼失

10月31日未明に首里城で火災が発生し主要6棟が全焼しました。火災直後から県内外そして海外から多くの支援が寄せられ再建の輪が広がりました。

【2013～2022年】  
クルーズ船など海路からの入域観光客数が、年100万人をこえました。



【2003～2012年】  
さまざまな面で沖縄が取り上げられる「沖縄ブーム」が  
おこりました。



復帰後の歴史を振り返ると、沖縄はさまざまな課題をかかえながらも、解決・克服してきたように思えます。これからの50年のために、我々も努力しなければいけません。

## 島の未来を担う、次世代の「ものづくり」

### 宮平乳業のハンドクリーム「Chi-Chi(ちーちー)」

乳業メーカー「宮平乳業」初となるコスメ開発の経緯は、牛乳の需要と供給のバランスを安定させるためでした。牛は暑さに弱いので、夏場は牛乳の生産量が減りますが、反して売れ行きは良くなります。一方冬は生産量が増えるものの、売上は鈍化。酪農業界が安定して利益を得られず、冬場に牛乳を廃棄する可能性

も出てきます。その解決策として、コスメという新しい活用方法が生み出されました。サラリとした付け心地に加え、フーチパーやもずくなどの沖縄素材成分をふんだんに使用し、リフレッシュ・リラックス・リチャージをテーマにしたシチュエーション毎の3種類の香りが楽しめます。



【お問い合わせ先】  
☎098-994-2768  
[https://miyahiranyugyo.co.jp/chi-chi/hand\\_cream/](https://miyahiranyugyo.co.jp/chi-chi/hand_cream/)  
取扱ショップなどは右記URLをご覧ください



HP